

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
今様・草加宿地区

平成23年3月

埼玉県草加市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	広場公園利用者数	人/日	400	500	581	確定 見込み ●	○	あり なし	592	H22年12月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	綾瀬川左岸広場公園や周辺環境の整備により目標を達成した。
指標2	来街歩行者数	人/日	256	300	258	確定 見込み ●	△	あり ● なし	383	H22年12月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	綾瀬川左岸広場公園や周辺環境の整備による回遊性の向上、市内外への情報発信による効果などにより、大きく目標を上回る結果となった。
指標3	満足度(印象)	%	36	43	29	確定 見込み ●	×	あり なし ●	37	H22年12月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	数値目標より低い数値であるが、従前値・事後評価値より向上している。引き続き、情報発信や安全で快適な歩行空間などの周辺環境の整備を実施する必要がある。
指標4	今様・草加宿の認知度	%	30	40	35	確定 見込み ●	△	あり ● なし	45	H22年12月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	引き続き、市内外への情報発信を実施したことにより認知度が向上し、目標を達成した。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	ガイドマップを設置した箇所数	箇所	95	/	135	確定 ● 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	今様・草加宿の認知度向上により、市のみならず市外及び県外でのPRの必要性が高まったため。
その他の数値指標2	旧町地区を中心とした「宿場まつり」参加者数	人	70,000	/	80,000	確定 ● 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	今様・草加宿の認知度向上が、地区内の代表的な祭りである「宿場まつり」の参加者増に結びついた。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	綾瀬川左岸広場での軽スポーツや散策等の利用を促進するとともに防災機能の充実を図る	綾瀬川左岸広場の第1期工事が完了し、供用を開始した。また、第2期工事を目指し、用地買収を進めた。	市民の軽スポーツやイベントの場、地域活動の拠点としての役割を果たすことができた。	引き続き、利用の促進を図っていく。また、第2期工事を実施し、公園機能、防災機能の充実を図っていく。
	旧町地区と草加松原との回遊性を向上させるとともに商店街の賑わいと安全で快適な歩行空間を確保する	回遊性の向上に向け、旧道や埼玉県が実施する伝右川の管理用通路整備について、地域住民や関係機関と協議を行い、計画策定を進めている。	旧道や伝右川の管理用通路の整備により、安全で快適な歩行空間が確保されるとともに、地域住民と協議を行い、計画の策定を行ったことにより、地域のまちづくり意識の向上につながった。	維持管理などへの市民参画を促進することにより、地域住民のまちづくり活動の活性化が図られるとともに賑わいの創出につながることが期待される。
	情報発信の拠点整備を強化し認知度を高める	神明一丁目の古民家を、来街者への情報発信の拠点や観光資源として活用するため、改修工事を行っている。また、市民による運営協議会が新たに設立され、活用方法や運営方法などについて協議を行った。	市民の運営による新たな活動の場ができることにより、情報発信の強化が図られ、認知度の向上につながる。	引き続き、運営団体と連携を図りながら拠点の運営に向けた準備を行い、市民や来街者への情報発信に努めることにより、今様・草加宿の認知度を高めることができる。
改善策	商店街の賑わいの復活	商店街の賑わいの復活に向け、草加の古い写真展示など商店街等の各種団体の催しや観光協会主催による草加宿七福神めぐり(スタンプラリー)を行った。	市内外からの多くの方々の参加により、回遊性が向上するとともに、賑わいの創出につながった。	新たに策定する観光基本計画を推進し、今様・草加宿地区の賑わいの創出、さらには市全域の地域活性化を図ることができる。
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	新旧住民によるまちづくりへの参加意識の醸成と環境整備	地域住民との協働による綾瀬川左岸広場のシバザクラの除草作業を実施した。また、情報発信の拠点整備に向け、市民による運営協議会を設立し、協議を行った。	市民との協働による事業の実施により、まちづくりへの参加意識の醸成や環境の充実に繋がった。	まちづくりへの参加意識の向上に向け、これまで地域活動などに参加経験がない市民でも参加できるような手法を、引き続き検討していくことが必要である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(清算報告)

いまよう そうかしゆくちく
今様・草加宿地区

埼玉県 そうかし
草加市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	草加市	地区名	イマヨウ・ソウカシユクテフ 今様・草加宿地区	面積	90 ha					
計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度					
					交付期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度

目標

大目標：歴史や文化、景観資源を活かした個性と活気にあふれた都市軸の賑わいの創出と魅力ある地域拠点の形成

目標①綾瀬川沿いの景観資源を活かした魅力ある地域拠点の形成。

目標②旧街道の歴史を感じ、ゆったり楽しく歩ける安全で快適な街づくり。

目標③今様・草加宿事業の推進に向けた市民参加と協働の促進。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・旧日光街道第2宿場として来年開宿約400年を迎える草加駅東口の旧町地区は、本市の中心市街地として発展してきた。平成4年に完成した駅前再開発事業を契機として、駅前大型店舗への客の集中やモーターゼーションの進展による商業施設の郊外化により、近年は旧街道商店街の空洞化が進み、また、商業地域内への高層マンションの進出が著しい状況にある。
- ・これら街なみや環境の変化に対し、地元では新たなまちづくりの機運として市民会議やまちづくり協議会等の組織が設立され、環境改善や商業振興のための話し合いや活動が活発化してきている。さらに、市では、駅周辺地域の安全で快適な歩行空間の確保や市街地の防災機能の向上を目的とした街路網計画に基づく道路拡幅を提案しており、これを機にまちづくりの関心が高まっている。
- ・また、本市のシンボルゾーンである草加松原遊歩道の対岸は、綾瀬川左岸プロジェクト地区として市民文化交流の拠点整備を予定し、昨年までに約6haの土地を市が取得した。
- ・こういった中で、本市では平成15年度に全国都市再生モデル調査事業の認定を受け、様変わりした街なみをもう一度見つめ直し、現代の新たな視点で旧街道地区から草加松原に至る賑わいの創出や地場産業の活性化を図るため、町会や商店街等の各種市民団体が組織された街なみ・川なみ「今様・草加宿」実行委員会が発足し、まちづくりのきっかけとなるためのイベントを実施したところである。
- ・今年度は、実行委員会のメンバーに新たに公募委員を加えて拡充したところであり、さらに産業界との連携も図りながらまちづくりを進めていく予定である。

課題

- ・草加駅東口旧町地区から草加松原シンボルゾーンに至る一帯を、回遊性をもった賑わいと魅力ある都市軸として再生することが課題であり、市民や観光客を誘致できる魅力の拠点づくりと景観に配慮した街並み誘導を図ることが必要である。
- ・中心市街地として空洞化の著しい旧町商店街を市民や事業者と協働して賑わいを復活することが求められており、かつての草加宿の面影を偲ばせる町屋づくりや土蔵等を活用しながら魅力のスポットづくりや安全で快適な歩行空間を確保することが必要である。
- ・草加松原寄りの旧街道沿いにはせんべい店が比較的多く集積しているが、草加駅から距離があり売上も伸び悩んでいることから、皮革やゆかたと共に草加を情報発信できる拠点を整備し、まちの活性化を図ることが必要である。
- ・草加松原遊歩道は市民の憩いの空間として広く親しまれているが、対岸の綾瀬川左岸地区を地域の交流や防災の拠点として整備することにより、草加駅や松原団地駅からの利用者の誘致と地域の防災性を高めることが必要である。
- ・今様・草加宿事業の推進に向けて、新旧住民の地域へのアイデンティティを高め、まちづくりへの参加意識の醸成を図ることが必要である。

将来ビジョン（中長期）

- ・草加市基本構想では、「快適都市」をテーマに、駅周辺地区は中心市街地としての活気と賑わいのあるまちづくりを掲げられており、また、ものづくりを大切にしているプロジェクトとして、生産活動の活性化や商業集積の整備・活性化、情報化と伝統産業の全国発信の場づくりが位置づけられている。また、心地よい風景をつくるためのシンボル・プロジェクトとして、草加松原のシンボルゾーンを活かした「草加松原・綾瀬川左岸」プロジェクトが位置づけられている。
- ・草加市都市計画マスタープランにおいて、草加駅周辺は本市の都市核として、旧宿場としての歴史的特性を踏まえ魅力的な都心の形成が方針となっており、草加松原周辺は文化核としてシンボルゾーンにふさわしい市民文化交流の拠点整備や都市景観の誘導が位置づけられている。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 広場公園利用者数	人/日	綾瀬川左岸広場公園の利用者数(12h)	綾瀬川左岸広場公園の利用者の増加を見込む。	400	H16年度	500	H21年度
2. 来街歩行者数	人/日	旧町地区と草加松原地区を結ぶ結節点付近の歩行者数(12h)	旧町地区と草加松原地区との市民・観光客の回遊性を確保するための指標として歩行者の増加を見込む。	256	H16年度	300	H21年度
3. 満足度(印象)	%	来街者における旧町商店街の満足度(印象)	観光客や来街者の商店街の満足度アップをめざす。	36	H16年度	43	H21年度
4. 今様・草加宿の認知度	%	来街者における今様・草加宿の認知度	事業の推進に向けて、認知度アップをめざす。	30	H16年度	40	H21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(日常的に賑わいが創出でき、災害時にも利用できる交流・防災拠点の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾瀬川左岸地区において、河川管理者との連携による河川環境を活かした賑わいの交流拠点を創出するとともに、災害時には防災機能を備えた広場公園を整備する。 ・公園整備に先立ち、綾瀬川左岸護岸を植栽(シバザクラ)し、市民や観光客の誘致のきっかけづくりを行う。 ・来訪者の誘導のために、旧町地区や路地、草加松原ゾーンに案内の道しるべを設置する。 	<p>地域生活基盤施設(基幹事業/広場公園)、地域生活基盤施設(基幹事業/道しるべ設置)、地域創造支援事業(提案事業/マップ作成)、事業活用調査(提案事業/綾瀬川左岸地区基本計画策定調査)、まちづくり活動推進事業(提案事業/ライトアップ事業)、綾瀬川左岸護岸植栽(関連事業)</p>
<p>整備方針2(歴史を感じる安全で快適な道づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草加駅から旧街道や草加松原ゾーンへの回遊性をもった快適な散策路を整備する。また、スポットに来訪者の休憩や交流のための街角スペースを確保する。 ・土蔵等の歴史的建物を修復し、奥の細道や日光街道にちなんだ資料館や物産館として来街者の誘致を図るための建物活用調査を実施し、効果的な活用方法を推進する。 ・草加せんべいをはじめ、皮革等の地場産業の情報発信や名所・史跡の散策路、せんべい店や個性的な店舗、商店街を紹介した今様・草加宿マップを作成し、集客や賑わいの足がかりとする。 ・来訪者の誘導のために、旧町地区や路地、草加松原ゾーンに案内の道しるべを設置する。 ・草加駅東口停車場線の整備完了にあわせ、草加駅駅前広場をユニバーサルデザインに配慮した安全で快適な歩行空間として整備する。 	<p>道路(基幹事業/歴史散策路整備【電線地中化】)、地域生活基盤施設(基幹事業/街角広場、あじさい公園、歴史散策路休憩スポット)、地域生活基盤施設(基幹事業/道しるべ設置)、高質空間形成施設(基幹事業/歴史散策路整備)、高質空間形成施設(基幹事業/草加駅東口駅前広場バリアフリー化整備)、地域創造支援事業(提案事業/マップ作成)、事業活用調査(提案事業/歴史的建造物活用調査)、まちづくり活動推進事業(提案事業/ライトアップ事業)、草加市景観計画・景観条例作成事業(関連事業)</p>
<p>整備方針3(市民意識の醸成と計画策定プロセスへの参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新旧住民と協働して綾瀬川左岸エリアの計画や旧道の街並み空間のあり方等を検討していく中で、市民の草加への愛着や誇りを醸成し、今様・草加宿事業の実現に向けた機運を盛り上げていく。 	<p>事業活用調査(提案事業/綾瀬川左岸地区基本計画策定調査)、草加市景観計画・景観条例作成事業(関連事業)</p>

その他

○地域再生計画の認定

平成16年6月に地域再生計画の認定を受け、同年12月に国や埼玉県、「今様・草加宿」実行委員会役員等で構成する特定地域プロジェクトチームを設置した。現在、このチームから支援を受けて地域再生、活性化のための施策等を検討しており、さらに賑わいのための効果的な整備メニューの充実を図る予定である。

○街並み景観形成の誘導

魅力的な景観の創出に向けて、「今様・草加宿」実行委員会や地域のまちづくり協議会と旧道や綾瀬川左岸地区の街並みや景観誘導のあり方について協議し、地区計画や景観計画を検討していく予定である。

